

フランスのクルーズ会社ポナンと世界最大級を誇るルーヴル美術館が提供 文化と美術を楽しむ2つのクルーズを発表



ラグジュアリー エクスペディション クルーズの世界的リーダーであり、フランス唯一のクルーズ会社PONANT（ポナン/本社：フランス・マルセイユ）は、フランス・パリのルーヴル美術館とパートナーシップを組み、文化と美術を楽しむ新たな2つのクルーズを2020年に提供することを発表いたします。このツアーは、ルーヴル美術館のキュレーターや部門ディレクターとのコミュニケーションにより生まれたもので、ルーヴル美術館の持つコレクションに由来する地を巡るクルーズをお楽しみいただけます。

① アドリア海の宝を巡るクルーズ

日程：2020年8月14日～23日（9泊10日）
航路：アテネ（ギリシャ）→ベネツィア（イタリア）
船名：ル・リリアル号
費用：3,560€～
詳細：[Learn more about this cruise](#)

アテネを出発し、モンテネグロ、イタリア、クロアチアへと、古代ギリシャとアドリア海の輝く文化や美術をお楽しみいただけるツアーです。コトル湾、コリントス運河、そしてユネスコの世界遺産であるアテネのアクロポリスやデルフィの考古遺跡、スプリットのディオクレティアヌス宮殿といった魅惑的な地を巡ります。ジャンク デュランド（ルーヴル美術館 装飾美術部門 ディレクター）とリュドヴィク ロージェ（ルーヴル美術館 ギリシャ、エトルリア、ローマ古器物部門）が乗船し、講義も開催予定です。



② ペルシャ湾の宝を巡るクルーズ

日程：2020年11月19日～27日（8泊9日）
航路：マスカット（オマーン）→ドバイ（アラブ首長国連邦）
船名：ル・ジャック・カルティエ号
費用：3,550€～
詳細：[Learn more about this cruise](#)

オマーンの首都マスカットから、カタールやアブダビを経てドバイまで、ペルシャ湾にまつわる古来からの伝統やアラビア半島の砂漠をお楽しみいただけるツアーです。アラビアのフィヨルドやシルバニヤス島の動物の保護区、成長を続ける未来都市、千夜一夜物語を彷彿とさせるシェイク・ザイド・グランド・モスク、そしてルーヴル・アブダビを巡ります。ヤニック リンツ（ルーヴル美術館 イスラム美術部門 ディレクター）が乗船し、講演を開催予定です。



<会社概要>

会社名 : Ponant
本社所在地 : 408 Avenue du Prado, 13008 Marseille, FRANCE
創立 : 1988年
公式HP : www.ponant.com

<PONANT（ポナン）とは>

船乗りが始めたフランス唯一のクルーズ会社。3本マストで60名乗りの「ル・ポナン号」から始まり、2010年には世界で初めて極地をクルーズすることを前提に建造された「ル・ボレアル号」含む4隻の姉妹船を建造し、業界最大の南極送客数を誇ります。また、PONANTが保有するすべてのクルーズ船が、ディーゼルと電気、もしくはLNGと電気のハイブリッドエンジンを使用しており自然に優しく、環境への配慮を行っています。ラグジュアリー エクスペディション（探検・冒険）クルーズのグローバルリーダーとして、PONANTは北極から南極まで、魅力溢れるあらゆる地をご案内するとともに、我が家のようにくつろげるプライベートヨット感覚でカリブ海や地中海クルーズもお楽しみいただけます。

【オフィシャル画像ダウンロードURL】：<https://bit.ly/2O104lx>